

ステップアップ！ 鼻出血の処置 コツと落とし穴



太田伸男（東北医科薬科大学医学部耳鼻咽喉科教授）

本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶登録手続

はじめに	p2
1. ステップアップのための鼻腔の解剖	p4
2. 鼻出血の原因を押さえよう！	p5
3. ステップアップ—問診のコツ	p8
4. 鼻出血の対応のポイントと落とし穴	p8
5. ステップアップ —専門医への紹介が必要なケースとそのタイミング	p12
6. 後鼻出血のマネージメント	p14
7. 蝶口蓋動脈凝固切断術の具体的な方法	p15
8. 蝶口蓋動脈凝固切断術の適応	p17
9. 難治性鼻出血のマネージメント	p18
10. 難治性鼻出血に対する観血的治療の比較	p20
おわりに	p21

▶HTML 版を読む

日本医事新報社では、Web オリジナルコンテンツ
を制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

はじめに

本コンテンツの対象

鼻出血は救急医療や日常診療で遭遇する頻度の高い疾患です。「鼻出血の処置のステップアップを望む」、「鼻出血の処置のコツや落とし穴を知りたい」すべての医療者を対象としています。

耳鼻咽喉科や救急科など鼻出血を診療する機会の多い初期研修医や耳鼻咽喉科，救急科，小児科などの専攻医から耳鼻咽喉科専門医までの幅広い臨床医が対象ですが，OSCEを終えてクリニカルクラークシップが始まり鼻の診察について学びを深めたいという医学生や，鼻出血のマネジメントについての知識を広げたい若手家庭医の先生方にもご覧頂ければと思っています。

鼻出血のマネジメントの必要性と重要性

出血部位が前方の場合の多くは保存的治療や簡単な処置で止血できますが，外科的手術が必要となる場合もあります。一方，出血部位が後方で頻回の鼻出血を繰り返す難治性鼻出血は，患者の不安感を募らせるだけでなくQOLを著しく低下させ，入院による全身管理や外科的手術が必要となる場合があります。

本コンテンツでは，鼻出血の治療法の中でプライマリ・ケアから外科的手術まで，解剖，原因，具体的な症例の提示，手術の適応を含めたマネジメント，具体的な手術方法とそのコツについて概説します。

専門医へ紹介するタイミング

前方の鼻出血でもなかなか止血できない場合や，鼻出血が口に垂れ込むような中鼻道の後方に凝血塊が多く存在しキーゼルバッハ部位からの出血ではない場合は，専門医への紹介が必要です。また，経験のある熟練した耳鼻科医の止血処置にも抵抗し，頻回に鼻出血を繰り返すような難治性鼻

出血の症例は，入院管理や手術を含めた処置の適応です。さらには抗血小板薬や抗凝固薬を内服している場合，高血圧を合併する症例など止血に難渋することが予想されるケースは専門医へ紹介することが望ましいです。

最後に，本コンテンツの出版にあたりまして貴重な機会を頂きました日本医事新報社，そしてご担当頂きました清井弘子様にお礼申し上げます。本コンテンツが鼻出血のマネージメントを含めた日常診療のお役に立つことができれば幸甚です。

2021年8月 太田伸男

Key words

鼻出血，前方出血，後方出血，難治性鼻出血，蝶口蓋動脈凝固切断術，
経上顎洞的顎動脈結紮術，ハーモニック・スカルペル，顎動脈塞栓術

1. ステップアップのための鼻腔の解剖

出血部位を確認・同定するためには鼻腔内の脈管の解剖に関する知識が重要です。鼻腔の前方を栄養しているのは顔面動脈の枝である上口唇動脈と顎動脈の枝である大口蓋動脈で，いずれも外頸動脈系であり鼻腔前方の出血の原因となります。内頸動脈系の脈管である眼動脈の枝である前篩骨動脈と後篩骨動脈が鼻中隔と鼻腔側壁情報を栄養しており，鼻腔頭側の出血に関与しています。また，顎動脈の枝である蝶口蓋動脈が蝶口蓋孔を通過した後外側後鼻動脈と中隔後鼻動脈に分かれ，それぞれ鼻腔側壁と鼻中隔後方を栄養するため鼻腔後方の鼻出血の原因であることが多いです。出血部位としては鼻中隔前下部で多くの血管が吻合してできる小血管網を形成するキーゼルバッハ部位が最も好発する部位です。

出血している場合，およびいったん出血が治まったケースの鼻腔内の代表的な所見をお示しします (図1~6)。

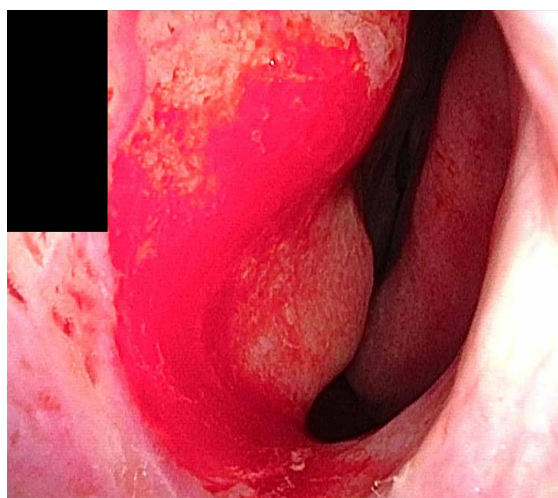


図1 4歳男児
右鼻腔外側に出血点あり。



図2 48歳女性
右キーゼルバッハ部位からの鼻出血。

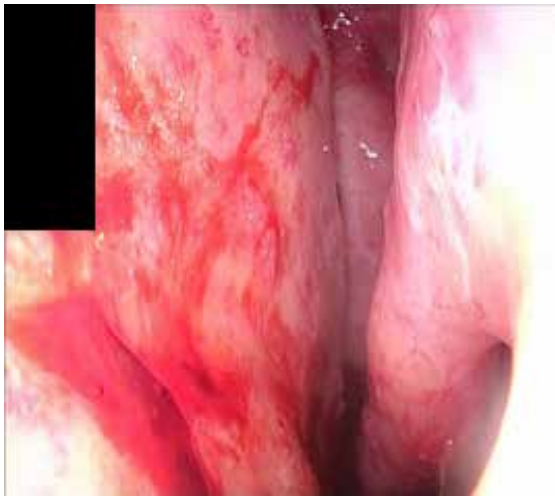


図3 77歳男性
左キーゼルパッハ部位からの鼻出血，高血圧で治療中。

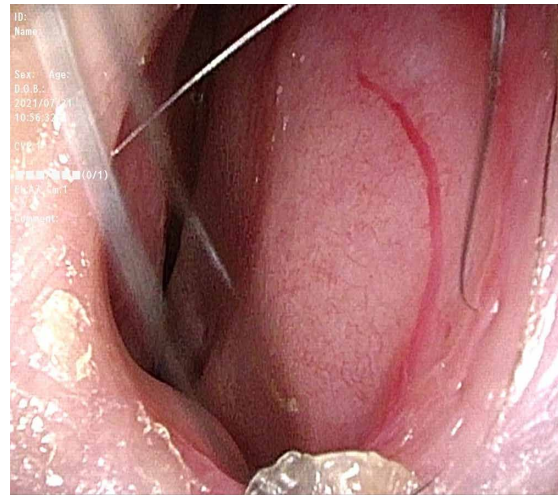


図4 16歳女性
右キーゼルパッハ部位からの鼻出血。



図5 21歳男性
鼻いじり後の左キーゼルパッハ部位からの鼻出血。

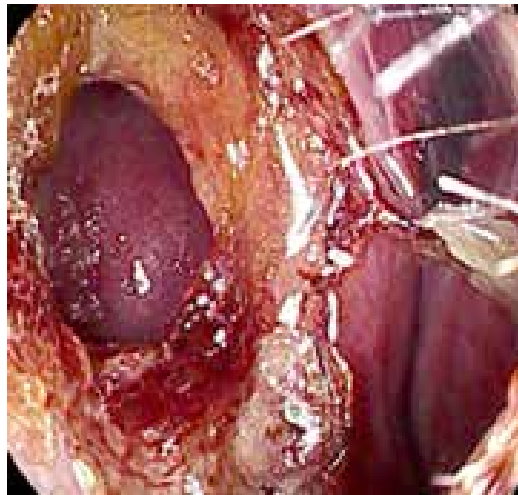


図6 54歳女性
鼻中隔穿孔部からの鼻出血。

2. 鼻出血の原因を押さえよう！

鼻出血の原因には局所と全身的なものの2つがあります。それぞれについて原因を押さえていきましょう。

(1) 局所

鼻いじり，鼻粘膜の乾燥，鼻炎，ステロイドの点鼻，鼻の外傷など，局所の原因による鼻出血が多いです。鼻中隔彎曲症や鼻副鼻腔腫瘍に起因する鼻出血は様々な治療に抵抗性を示すことがあります。前鼻鏡や内視鏡に